

みんなの 肖の大ま 像(2) 阪ち



2022年2月OPEN

大阪発、暮らしに密着したプロダクトデザインを探る

—特別企画—

大阪中之島美術館

関西デザイン系大学・専門家向ギャラリートーク

大阪中之島美術館は、19世紀後半から現代までの美術とデザインを専門に、収集・保存、調査・研究、展示・公開・普及を行っており、商業や文化、美術やデザインといった分野を横断する、文化都市大阪の創造性を見直すことを特徴としています。

この展覧会では、戦後の大阪で開花した様々なアートや広告文化に加え、日本をリードした工業化住宅や家電製品を「デザイン」の視点から捉える展示を含め、商業と文化を横断して生活に影響を与えてきたデザインを、実物や復元モデルで紹介しています。

そこで、関西で活躍するデザイン系の専門家や学生を対象に美術館の学芸員が特別に皆さんをご案内します。戦後の復興から高度成長、成熟期へと向かう、関西から生まれた生活に密着したプロダクトを再発見していただきたいと思います。

日時 2022年9月24日(土曜日)

16時00分～17時00分

終了後自由見学(18時閉館)

※当日15時45分までに、2階ショップ東側通路付近に集合

費用 社会人;1,000円 大学生;無料

※最小実施人数20名

(団体扱いのため19名以下の場合、開催しません)

※社会人の方の参加費は、当日徴収します。

参加申込方法

下記「日本インテリア学会関西支部申し込みサイト」へアクセスいただき、必要事項をご記入ください。

申込サイト: <https://forms.gle/uXLUxHWWFNcQqq1a6>

申込締切:2022年9月17日 土曜日



現代に至るデザインの変遷がよくわかります。
このエリアは写真撮影も可能です。



みんなの 肖の大ま 像(2) 阪ち

第2期 / 「祝祭」との共鳴。 昭和戦後・平成・令和

2022年8月6日(土)～10月2日(日)

◎大阪中之島美術館 5階展示室 ◎月曜日休館(9/19を除く)

◎開館時間:10:00-17:00(入場は16:30まで)

※災害などにより臨時休館となる場合があります。

◎主催:大阪中之島美術館、NHK大阪放送局 ◎特別協力:積水ハウス SEKISUI HOUSE

◎協力:BXティール、DICデコール、TOTO、朝日ウッドテック、王建工業、キョーライト、クリナップ

シャープ、積水ホームテクノ、象印マホービン、ハウテック、パナソニックグループ、不二サッシ

◎助成:公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人ユニオン造形文化財団

 大阪中之島美術館

『みんなのまち 大阪の肖像』は、大阪中之島美術館の開館を記念して、当館の建つ地である「大阪」をテーマに、明治から現代へと時代の流れとともに変遷してきた大阪の“肖像”を2期にわたり紹介する展覧会です。戦前編の第1期に続くこの「第2期 / 「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和」では、戦野原から人々が力強く立ち上がった戦後復興期から、1970年(昭和45)の日本万国博覧会、そして現代へと、新しい何かを求め新しい何かに翻弄されながら起伏の激しい時代を生きるまちとその表情をご覧ください。

家電や工業化住宅は、いまや私たちの暮らしの当たり前となっているものですが、高度経済成長期に誕生した当初は新しいライフスタイルを表現する憧れの的でした。モノが溢れだしたこの時代は、芸術活動もさらに活発化し、これまでにない新たな表現が次々と登場します。広告はややかな競争の場となり、デザイナー同士で表現を高め合う場面もみられました。人々を熱い渦に巻き込んだ70年万博を経て、世紀を超えてなお個性豊かな大都市としての歩みを続ける大阪。2025年(令和7)には2度目の万博を迎えます。その発展と変貌の軌跡を、絵画、ポスター、家電、実物大工業化住宅などの作品・資料約300点によってご覧いただけます。美術とデザインを活動の両輪とする当館ならではのコレクションを中心に、大阪府内外の美術館・博物館や企業などからの出品を加え、大阪の魅力を広く深く掘り起こします。

1. 山梨一雄(透視)

1970年(昭和45)

油彩、カンヴァス

大阪中之島美術館蔵

2. 早川良雄(第11回戦の青い夜)

1953年(昭和28)

印刷、紙

大阪中之島美術館蔵

3. 前田香四郎(道場近し)

1951年(昭和26)

ラノカット、紙

大阪中之島美術館蔵

4. 1970年代の実物大工業化住宅

(イメージイラスト)

積水ハウス株式会社

5. 松下電器産業株式会社

(ナショナルテレビ 結構(TC-86G))

1965年(昭和40)

パナソニックミュージアム蔵

6. やなぎあゆ

(室内線の部屋(1))

1957年(平成1)

ダイレクトプリント

大阪中之島美術館蔵



主催:日本インテリア学会関西支部

担当:来海(きまち)・中村 問い合わせ先: jasiskansai@gmail.com